

Tomikuma Community
まちづくり計画
健康で笑顔あふれるまち富熊



第3次
富熊コミュニティまちづくり計画
健康で笑顔あふれるまち富熊

2020.4



富熊校区コミュニティ協議会

はじめに

このまちづくり計画は、平成 22 年に第一次を、平成 27 年に第二次のまちづくり計画を策定し、今回が第三次のまちづくり計画となります。

一次、二次の計画により、平成 17 年 3 月の旧丸亀市と飯山町との合併後の富熊校区のまちづくりについて、合併市としての新しい仕組みの中、住民の皆さんとともに、「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」を目指して進めてきました。

このような中、社会情勢の変化は当地区にも押し寄せており、農地の荒廃化や核家族化が進み、地域のつながりも希薄になっていると感じています。また、自然環境の変化も著しく、近づく「南海トラフ地震」はもちろん、頻発する台風災害などに対する備えも必要になっています。

こういった社会情勢、自然環境の変化の中、今回、計画策定にあたっては、広く住民の皆さんのご意見をうかがうアンケート調査を実施しました。富熊校区は「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」という意見が 75%以上を占める一方、環境や交通、生きがいづくりなどの課題、また将来の不安など貴重なご意見を多数いただきました。

第三次のまちづくり計画にあたっては、これらのご意見やアンケート結果をできるだけ取り入れ策定しました。

今、人生も 100 年時代といわれています。働き方改革も進められ、外国人労働者もなくてはならない存在になっています。地域事業への参加やかかわりについても「参加したくとも、日程的に困難である」といった意見も大変多くありました。多くの方々にとって、地域やコミュニティの活動に費やせる時間は限られていると思います。そのような中、できる範囲で、できることに参加していただき、計画の実現に努めていきたいと考えています。

安心安全を基盤に、明るく、健康で笑顔あふれるまちを目指して、まちづくりに取り組んでいきますので、今後とも、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和 2 年 4 月

富熊校区コミュニティ協議会

会長 丸尾 良一

目次

第1章 富熊校区の概要	3
1. 位置・歴史	
2. 産業	
3. 公共施設	
4. 史跡	
5. 年中行事	
6. 人口統計	
7. 特徴と傾向	
第2章 評価と課題	7
1. 過去の活動を通じての評価	
2. 住民アンケート結果	
3. 課題の分類と整理	
第3章 まちづくり計画	13
1. 目指す富熊の将来像	
2. まちづくりの5本柱	
第1柱：歴史と環境をまもるまちづくり	
第2柱：健康で生きがいのあるまちづくり	
第3柱：安全安心の暮らしを支えるまちづくり	
第4柱：ふれあい・助け合いのまちづくり	
第5柱：地域と子どもが、かがやくまちづくり	
3. 計画の性格	
4. 計画の期間	
参考資料	
計画策定委員一覧表	
富熊校区概略図（ふるさとめぐり）	
富熊コミュニティ組織図	

第1章 富熊校区の概要

1. 位置・歴史

【位置】

富熊校区は、丸亀市の南東に位置し、瀬戸内内陸部で一年を通して温暖な気候に恵まれています。

南方に四国山脈、讃岐山脈を望み台風等自然災害も比較的受けにくい地域であります。

冬は季節風が強く吹き、寒い日が多くなりますが、氷点下になることは少なく、春から夏にかけては日照時間が多くなって乾燥します。

夏は高温で蒸し暑く、梅雨と台風シーズンには雨が中心となります。降雨量は比較的少なく、日照時間が多いために空気は乾燥しますが、温暖で四季の変化に恵まれた暮らしよい気候です。

【歴史】

大束川流域は、昔から水量が豊かで、古代には条里制が敷かれていた典型的な水田地帯です。庄や次見地区からは弥生式の土器も発見されており、東の丘陵にある「陣の丸古墳」は、尾根の上に、一基の方墳を挟んで、二基の前方後円墳が向き合っている珍しい古墳で、昭和48年には県の指定文化財になっています。古墳時代の早い時期に築かれたもので、当時この地区には、かなりの勢力があったものと推測されています。

讃岐国府がおかれたころには鵜足郡のなかの栗熊郷（現在の栗熊、富熊）に含まれていました。荘園制度や検地に基づく年貢の制度などの豪族や武士の時代を経て、明治の近代的な町村制度が敷かれました。明治8年の人口は1890人、世帯数は420戸であり、およその状況が推測されます。明治11年には鵜足郡は、隣の阿野郡と連合して、阿野鵜足郡となり、富熊村もその中に含まれることになりました。

明治32年には、阿野鵜足郡が廃止され綾歌郡が誕生しました。

戦後は昭和26年4月1日に富熊村は、栗熊村と合併して久栄村となり、同日、久万玉村に改称されました。そして8年後の昭和34年には、岡田村と久万玉村が合併して綾歌町が誕生しました。平成時代になり、17年には旧丸亀市、飯山町と合併し、新丸亀市が誕生し、綾歌町富熊としてその中に含まれることとなり、現在に至っています。

2. 産業

当地区は、一次産業が主要を占めています。農地では米作、麦作が主となっていますが、健康志向の高まりで野菜類の栽培も盛んです。最近ではブロッコリー栽培に力を入れる農家も増加しています。また、畑作では柑橘類を中心に栽培されています。特に、大原地区では地の利を活かした桃・はっさく作りが盛んで、消費者の好評価に繋がっています。

商業では、大型スーパーの出店により、小規模店舗は減少しています。

3. 公共施設

当地区には、以下の公共施設があります。

教育施設	富熊小学校、富熊保育所
警察	富熊駐在所
消防	第15分団屯所
用水	次見配水池、富士見坂（配水池、ポンプ）大原配水池、奥川内配水池
施設	富熊コミュニティセンター、分館（ゆうとぴあ綾歌）

4. 史跡

当地区には、次のような史跡があり、昔から行われていた行事も少し形を変えつつも今なお継続して取り行われています。

イ) 神社

横山神社・富隈神社・富隈地神社・次見神社・正八幡宮・石鎚神社・大川神社・八頭神社・城光溪神社等があります。

ロ) 寺院

万福寺・円光寺・勝縁寺・吉祥寺があります。

ハ) 荒神・地蔵・石碑

油山の行基さん・大原のタグリ荒神・大原の木折荒神・次見の浦谷祠・奥川内の聖天さん・奥川内のエイボハン・葛西祠・井伊ノ地荒神・霊神さん・立江地蔵・本村のちち薬師・高木南邸先生の墓・伊予見地蔵・桜荒神・竜王山・吉田ト山の顕彰碑・煙草記念碑等があります。

二) 古墳

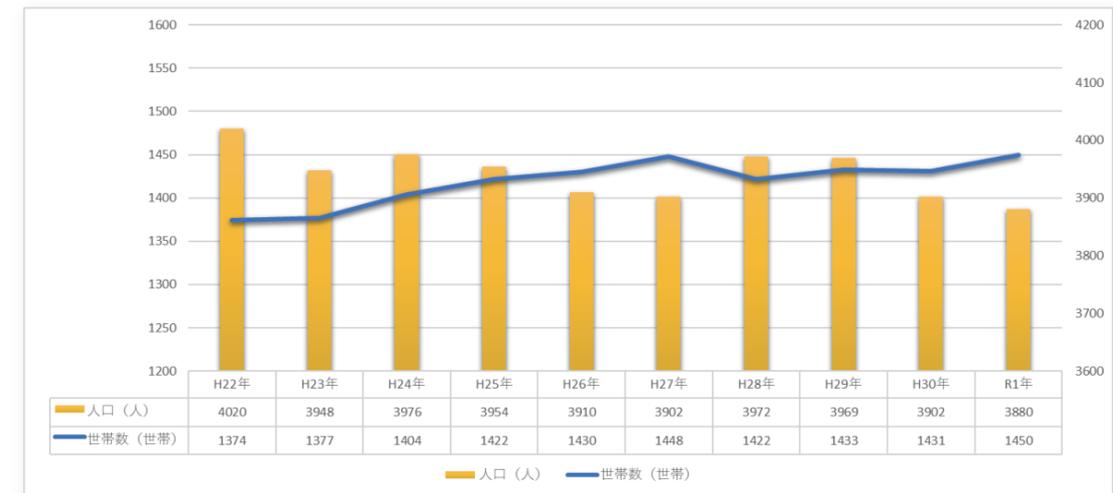
陣の丸古墳・横山経塚古墳群・横峰古墳群があります。

5. 年中行事

正月行事	元日、初荷、書初め、御用始め、七草、成人の日、鏡開き、小正月
春行事	節分、ひな祭り、百手祭り、社日、お彼岸、端午の節句
夏行事	半夏生、大祓い、土用、丑の日、七夕、お盆、盆踊り、灯籠流し
秋行事	午節句、秋の大祭、地神さんのまつり
冬行事	冬至、餅つき、出初め式、針供養等

6. 人口統計

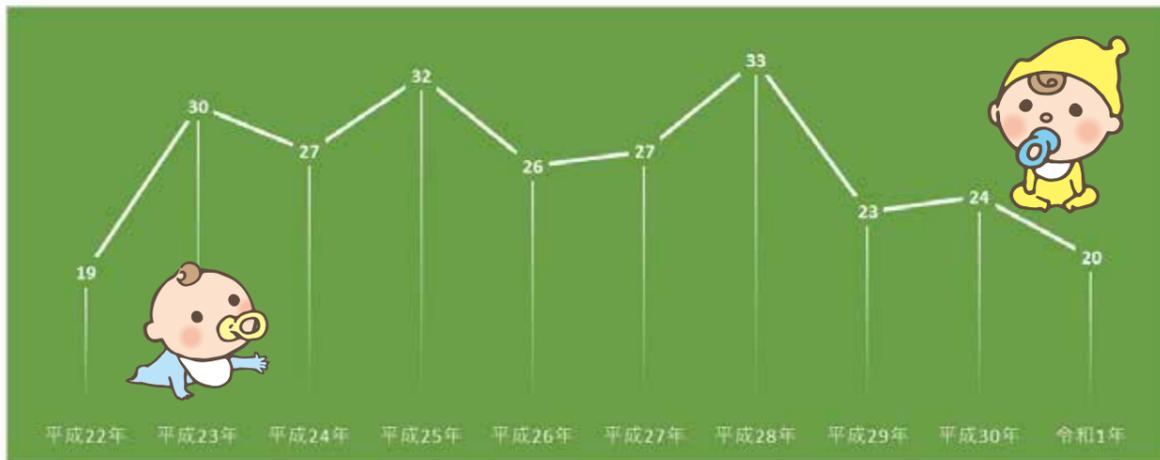
人口・世帯数の推移



高齢化率（65歳以上人口の推移）



出生数の推移（人）



富熊の年齢別人口と構成比

年齢別	平成22年2月				平成26年12月				令和1年12月			
	男子	女子	合計	構成比	男子	女子	合計	構成比	男子	女子	合計	構成比
0～5	94	100	194	4.80%	90	88	178	4.42%	105	80	185	4.70%
6～10	105	90	195	4.82%	99	101	200	4.96%	92	82	174	4.42%
11～15	125	124	249	6.16%	101	92	193	4.79%	103	105	208	5.28%
16～20	128	125	253	6.26%	121	116	237	5.88%	93	101	194	4.92%
21～30	229	228	457	11.30%	223	231	454	11.26%	171	178	349	8.86%
31～40	234	227	461	11.40%	219	223	442	10.97%	234	237	471	11.95%
41～50	266	304	570	14.09%	260	269	529	13.12%	253	247	500	12.69%
51～60	347	308	655	16.20%	306	330	636	15.78%	266	323	589	14.95%
61～65	133	131	264	6.53%	173	158	331	8.21%	159	132	291	7.39%
66～70	86	101	187	4.62%	123	122	245	6.08%	171	161	332	8.43%
71～75	92	110	202	5.00%	80	96	176	4.37%	100	101	201	5.10%
76以上	137	220	357	8.83%	166	244	410	10.17%	171	275	446	11.32%
合計			4,044				4,031				3,940	

6. 特徴と傾向

平成22年をピークに人口は減少していますが、世帯数は増加傾向にあり、特に65歳以上の高齢化は顕著です。また、出生数は横ばいながら減少傾向にあります。

今後は、老々介護問題など地域でのサポートが必要になると思われます。

第2章 評価と課題

1. 過去の活動を通じての評価

1) 評価

第2次まちづくり計画は、「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」を目指し、次の3つの目標を掲げ取り組んできました。

① 豊富な自然を生かし、住みよい環境を守り育てます。

環境美化については、町内一斉清掃、花いっぱい運動、環境意識啓発活動など継続的な取り組みにより地域に浸透してきており、住みよい地域づくりに役立つものと考えています。

防犯・防災活動については、防災研修、防災訓練、交通安全キャンペーンなど継続的な取り組みにより、住民の意識向上につながりつつあります。



環境美化 花いっぱい運動



防犯パトロール車



えひめ AI-2 作り



防災訓練

② 歴史を尊び皆が参加し、小学校、こども園、保育所との連携などを通じ教育文化の振興に努めます。

サツマイモ栽培、餅つき大会、コミュニティ合同運動会、夏の夕べなど、子ども達に好評で、地域の方々との交流、世代間交流等につながりつつあります。

教育文化については、あいさつ運動、地域のおじさんおばさん運動など児童の登下校において、子ども達からも積極的な声かけにつながってきており、防犯にも役立っています。



サツマイモ掘り



運動会



餅つき大会



富熊地神祭



親子料理教室



信号無視防止キャンペーン

③ 富熊住民一人ひとりがふれあいを大切に、健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

夏まつりやコミュニティまつりは、住民の交流の場として盛況を得ており、住民に広く浸透してきています。

福祉面では、高齢者を対象とした交通安全講習会、健康づくりのための体操教室、敬老会行事、竜山大学、料理教室等、日常生活に密着した活動に取り組み、継続行事として認識されています。



交通安全講習会



男性料理教室



敬老会



コミュニティまつり



健康づくり体操教室



夏まつり

2) 課題

それぞれの項目で掲げられた事業計画の実施状況をみると、まちづくりは着実に前進しているといえます。その一方で、各団体間及び、校区内住民との相互の連携、情報共有の点で不十分なところもあり、次期計画ではこれらをより積極的に取り組む必要があります。

2. 住民アンケート結果

この5年間で自治会運営の変化や自然災害の深刻化など、私達を取り巻く環境は大きく変化しました。計画策定にあたり住民の皆さんのご意見をうかがう必要があると考えアンケートを実施しました。

富熊校区まちづくりに関するアンケートについて、以下に報告します。

1) アンケートについて

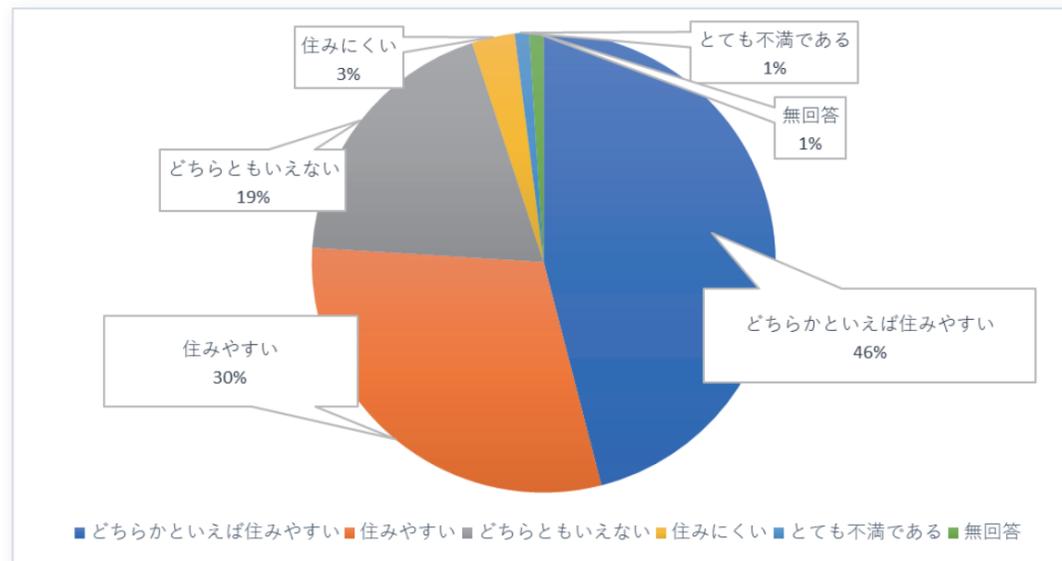
実施日 令和1年12月15日～令和2年1月10日

発送数 1118戸

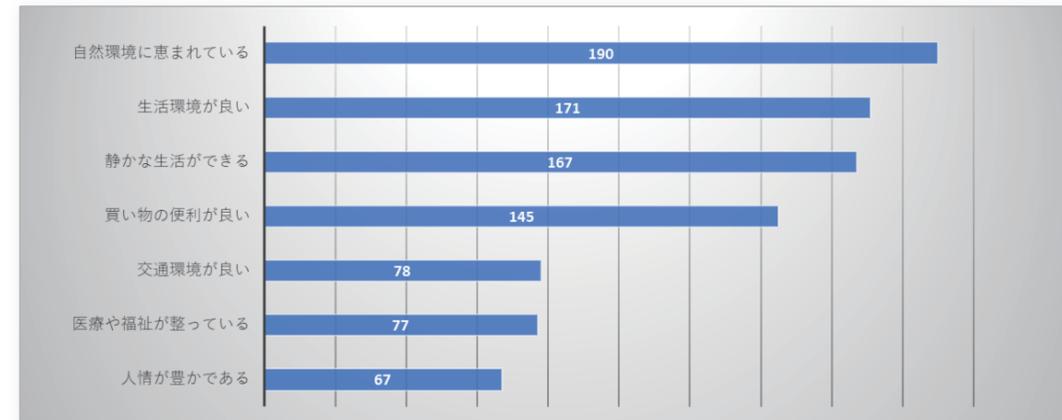
回答数 358戸 32.02%

2) 結果

? 富熊での住みやすさについて、どう感じていますか？



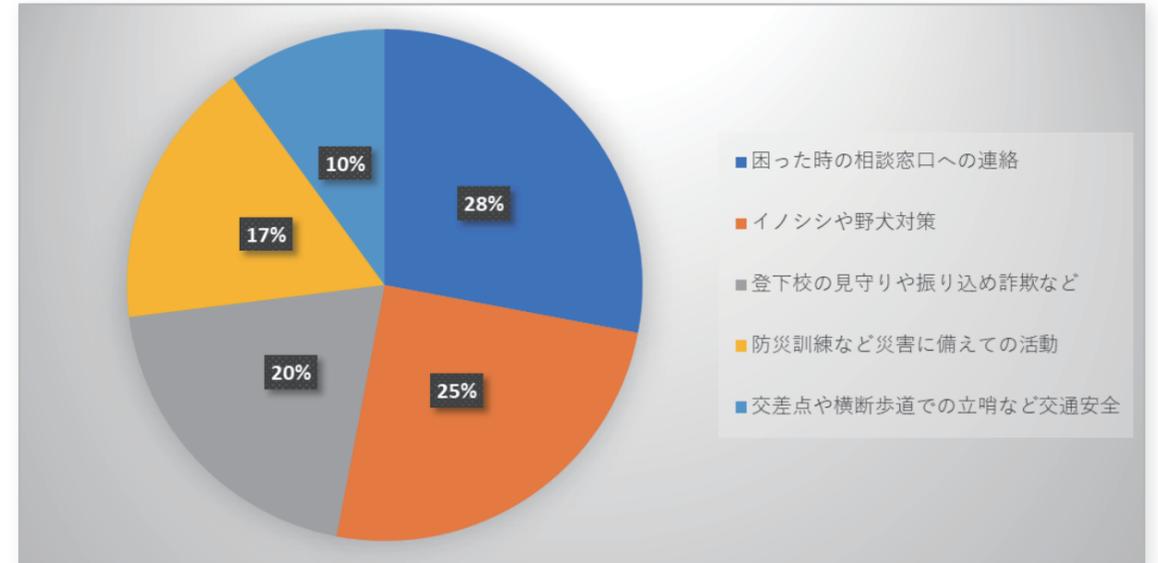
? あなたにとって、住みやすさとは何ですか？



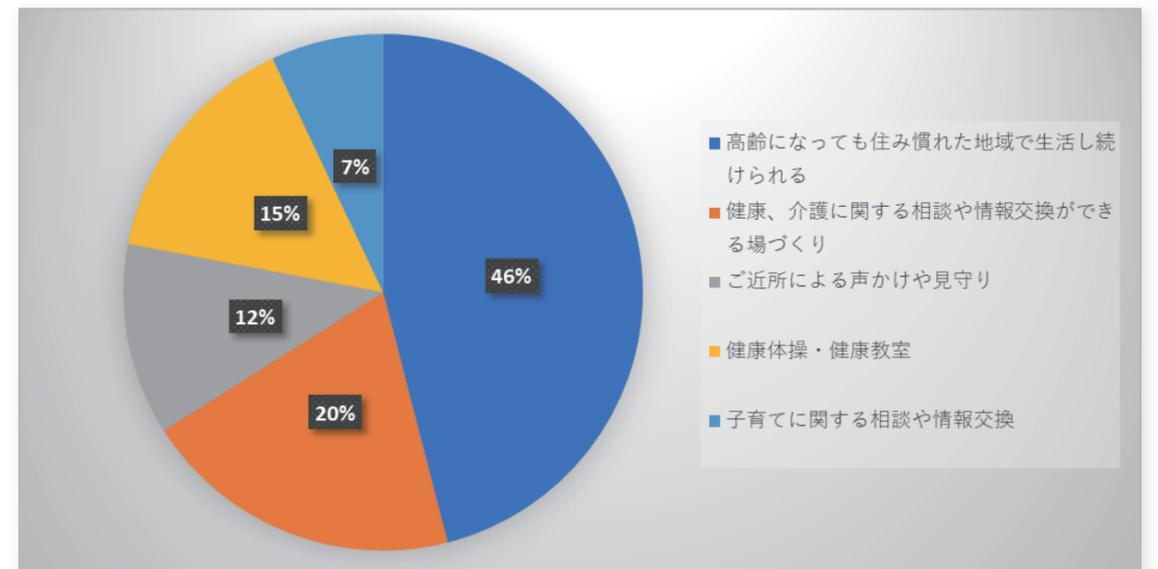
? 暮らしを良くしていくために、今後のまちづくりに必要なことは？



安心・安全について

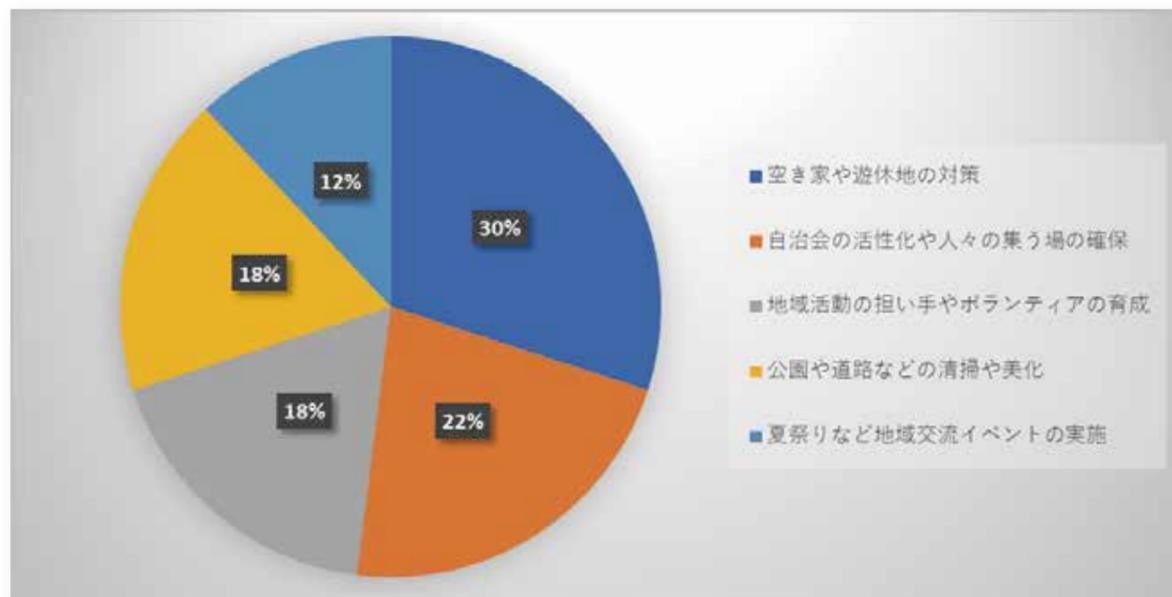


健康・福祉について

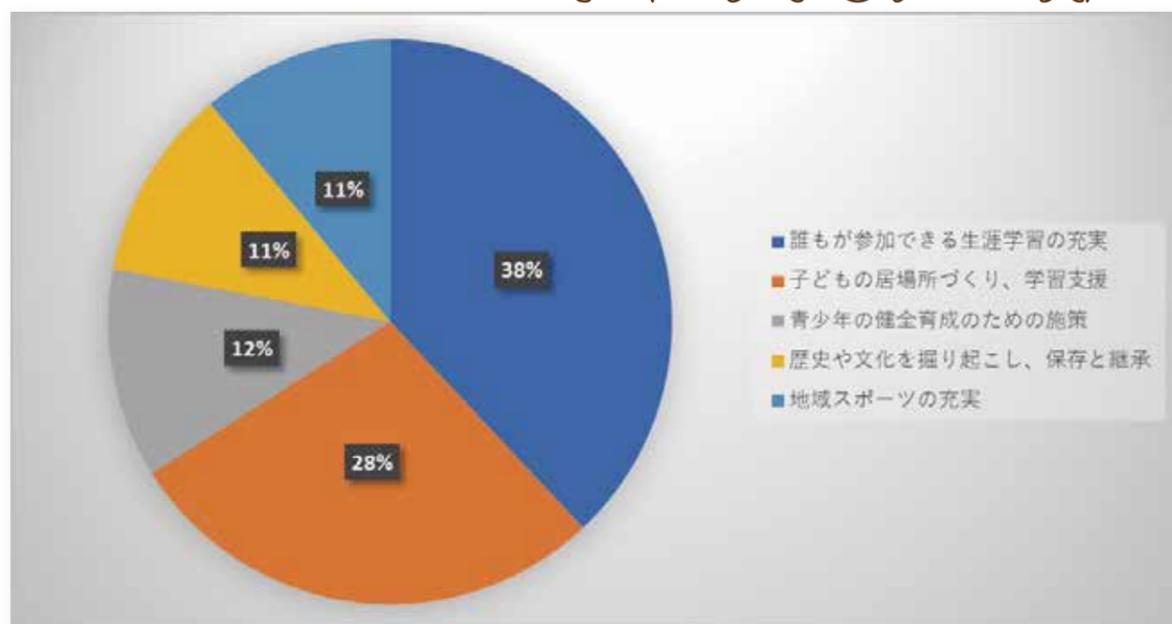




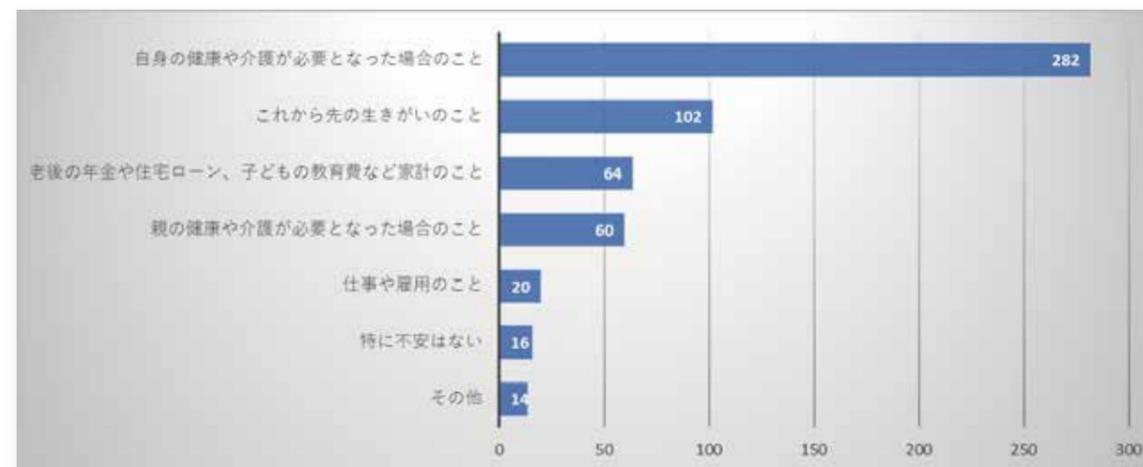
まちづくりについて



教育文化について



今後の生活で不安なことは何ですか？



ご近所とのつき合い方は？

決まり事には参加している・挨拶をする程度 63%



地域行事・活動に参加していますか？

自治会の役が当たれば参加・よく参加している 59%



行事・活動に参加して良かった事は？

知らなかった人と知り合えた・地域の人と親しくなれた・富熊の一員としての意識が強まった 74%



行事・活動に参加しない理由は？

日程や場所が合わない・知り合いがいない 55%



自治会に加入していますか？

加入している 89%



行事に関する情報は届いていますか？

届いている 91%



自治会に加入していない理由は？

役員をしたくない・メリットがない・案内がない

などが多かった。

3. 課題の分類と整理 (記述式質問の結果を抜粋)

暮らしやすいまちづくりのために…

住民同士のふれあい

- ・世代間交流を促進してほしい
- ・少子化や未婚者の増加によって後継ぎがいなくなっている

文化・スポーツ

- ・趣味や文化教室の案内が少ない
- ・生涯学習を充実してほしい

人材

- ・ボランティア的なリーダーがほしい
- ・ちょっとした用事を気楽に頼める人がいない

交通

- ・車の運転ができなくなったら移動手段がない(通院、買い物など)
- ・公共交通機関(バス等)が不便

防犯

- ・夜は暗すぎるので、街灯を設置してほしい
- ・防犯カメラを増やしてほしい

自治会

自治会離れが進んでいる
人情が希薄になってきている
自治会組織が弱体化している

環境

- ・遊休地の利用を考えてほしい
- ・季節を感じられる植物(桜・紅葉など)を植えてほしい

子ども・通学路

- ・子どもが外で安全に遊べる場所がほしい
- ・通学路に大きな川があり、危険を感じる

空き家・動物

- ・空き家が増えて困る
- ・イノシシの被害が困る
- ・ネコ、イヌのふんの処理ができていない

独り暮らし

- ・高齢者の見守りが必要
- ・独居老人の交流や連絡を考えてほしい

なるほど…

みんな貴重な意見だなあ

住民同士の交流や自治会のこと、校区全体で取り組むこと、自治体をお願いすることなどを整理していこう!



第3章 まちづくり計画

1. 目指す富熊の将来像

わたし達の住む富熊は、豊かな自然、歴史文化資源の継承が、比較的うまく機能している地区であると考えています。今までのまちづくり計画では「自然と歴史が調和した住みよいまち富熊」を将来像として取り組んできました。

これからのまちづくりにおいても、これらを継承しながら、変化する地域環境、社会環境に柔軟に対応していく必要があります。特に少子高齢化を踏まえ、住民一人ひとりにより重点を置き、「健康」や「生きがい」などにも一層取り組み、「富熊に住み続けたい」と思えるまちづくりを目指します。

このようなことから、この計画では「健康で笑顔あふれるまち富熊」を将来像として位置づけることとします。

2. まちづくりの5本柱

その将来像を具体化するために、次の5本の柱を中心にして、まちづくりに取り組んでまいります。

第1柱：歴史と環境をまもるまちづくり

第2柱：健康で生きがいのあるまちづくり

第3柱：安全安心の暮らしを支えるまちづくり

第4柱：ふれあい・助け合いのまちづくり

第5柱：地域と子どもが、かがやくまちづくり



3. 計画の性格

本計画は、毎年度の部会、理事会などにおいて必要に応じて改定できる柔軟な性格を有します。

4. 計画の期間

本計画の有効期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。



地球温暖化により、私たちの生活環境は大きく変化してきています。四季の変化を感じにくくなっているほか、想定規模以上の災害も頻繁に発生する状況となっています。

緑を大切にし、地域の美化と環境保全活動を推進し、豊かな郷土づくりを目指します。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数(時期)	実施予定
花いっぱい運動	プランターに花の植付け(学校・コミュニティなど)	防犯環境部 環境美化推進員	5月・12月	
えひめ AI-2 環境浄化推進	えひめ AI-2 の作り方教室 使用方法講習会	防犯環境部 生活研究グループ	2回/年	
地域一斉清掃	地区全体のポイ捨てゴミの 収集	防犯環境部 住民	5月・12月	
自然の中で遊ぼう	里山散策、いちご狩り、 家畜とふれあい	富熊小学校 富熊保育所	2回/年	
路上のゴミ点検	道路沿いなどポイ捨てゴミ の点検	環境美化推進員	随時	
土器川河川敷 クリーン作戦	土器川河川敷の一斉清掃に 参加	環境美化推進員 老社会	1回/年	
ゴミステーションの掃除	各自治会でのゴミ収集 所の清掃	各自治会	随時	
地域内の美しい景観の紹介	コミュニティ便りの中で随時 紹介していく	総務部	4回/年	今後実施
遊休地での花の植付け	道路沿いの遊休地を借用し て花の植付けをする			検討
里山の草刈り	里山の草刈りをして、遊歩道 に活用			検討





少子高齢化社会に向かいつつある中で、当地区の高齢化率も 25%を超え、高齢者層の健康維持は重要な課題となってきています。また、食生活や医療技術の発展により長寿化してきており「人生 100 年時代」という言葉も常識の時代となってきました。

一方、生産年齢層の減少に伴い、次世代への負担をできる限り少なくしていかなければなりません。

このことから地域の方々とふれあい、身体を動かすことが、健康寿命をのばすために重要となります。

コミュニティとしても、健康長寿で生きがいのあるまちづくりを積極的に推進してまいります。

計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数(時期)	実施予定
敬老会	コミュニティセンターで長寿をお祝い	生活福祉部 自治会長	9月	
親子料理教室	コミュニティセンターにて親子で料理を作り会食をする	生活福祉部 食生活改善	8月	
男性料理教室	コミュニティセンターにて男性が料理を作り会食をする	生活福祉部 食生活改善	10月	
いきいきサロン	各地区でのいきいきサロンに助成	生活福祉部	6月	
介護予防体操	コミュニティセンターで介護予防のための体操教室を行う	生活福祉部 地域包括	毎月1回	
健康講座	講師を招きコミュニティセンターで講演会を行う	生活福祉部 市健康課	1回/年	
健康相談	コミュニティセンターで保健師に健康状態を相談する	市健康課	毎月1回	
チャレンジデー	指定された1日の中で15分以上の運動をして、他市と対戦する	体育部	5月	
富熊健康ウォーク	地域の史跡を巡るウォーキング大会	体育部	1回/年	
グランドゴルフ大会	ゆうとぴあでグランドゴルフをする	体育部	1回/年	
運動教室	講師を招き運動の基本を学び、体験する	体育部 市健康課	1~2回/年	
パタンク大会	ゆうとぴあで、パタンク大会を行う	体育部	1回/年	
ラジオ体操	コミュニティ又は小学校でラジオ体操をする	体育部		検討

健康で生きがいのあるまちづくり



当地区は、比較的災害の少ない地域でありましたが、近年の異常気象等により、予想もしない災害が訪れる可能性も否定できない状況となっています。

これらの災害に迅速に対応し、被害を最小に留めるには、日ごろからの知識習得、訓練等が不可欠です。

また、核家族化による高齢者のみの住宅の増加や後継者不在による空き家などが増加傾向にあり、これらを狙った悪質な犯罪行為も増えてきています。

いずれも常日頃から柔軟に対応できるようにしていかなければなりません。

いつでもだれでもすぐ参加できる事業に、コミュニティとして取り組んでまいります。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数(時期)	実施予定
防災研修会	講師による、防災に関する研修会	自主防災会 自治会長	7月	
防災訓練	災害を想定して、小学生と一緒に訓練や体験実習を行う	自主防災会 住民	9月	
交通安全研修会	交通安全・振り込め詐欺などの講習会	老社会 住民	8月	
信号無視撲滅キャンペーン	富士見坂下の交差点で、信号無視防止の呼びかけ	防犯環境部 学校関係者 役員 他	9月	
防犯パトロール	各種団体に依頼して、毎日下校の見守りを行う	防犯環境部 各種団体	6月~3月 末、毎日	
地域のおじさんおばさん運動	下校時間に合わせて、通学路で見守りを行う	自治会登録者	毎日 (第1・3水曜日)	
イヌ・ネコのフン対策	広報誌などにより、定期的に呼びかけ	防犯環境部		今後実施
通学路の安全対策	「スピード落とせ」の横断幕を作り小学校の塀に取り付け			検討
イノシシなどの害獣対策	広報誌などにより連絡先の周知	防犯環境部		今後実施
富熊地区防災計画の策定	防災計画書を策定する	自主防災会		今後実施



安全安心の暮らしを支えるまちづくり



高齢化や核家族化の進行により、家庭内でのコミュニケーションが減少してきています。自治会活動においても、時代の変化に伴い縮小傾向が続いています。しかしながら、地域をよく知り、互いに交流を深めることは、日常生活において、悪質犯罪の被害防止や、災害被害の防止などにつながる重要な要素ではないでしょうか。

コミュニティは、いろいろな事業を通じて、地域の人の「輪を広げる」ために活動し、笑顔あふれるまちづくりを目指します。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数(時期)	実施予定
人権擁護研修会	コミュニティセンターに講師を招き講演を聴く	育成部 老社会	12月	
竜山大学	毎回講師を招き講演を聴き、実技を行う	老社会	毎月1回	
いきいきサロン	各地区公民館で地域の福祉団体が主催しサロンを開く	民生委員 福祉ママ 福祉協力員	随時	
友愛訪問	要支援者宅を、訪問	民生委員	2回 / 年	
コミュニティまつり	生涯学習成果の発表の場として、おまつりを行う	実行委員会	11月	
夏まつり	コミュニティで、夏まつりを行う	実行委員会	8月	
生涯学習クラブ	全17クラブがそれぞれ実施	各クラブ	随時	
交通の利便性の向上	福祉タクシー			検討
ボランティアの公募	地域ボランティアを募集する			検討
新規自治会	新しい団地を中心に自治会の発足を促す			検討
コミュニティの日	カフェ・お困りごと相談			検討
コミュニティ自治会	コミュニティ自治会の発足			検討



子ども達を巻き込む悪質な犯罪が全国各地で多発し、人と人とのつながりが希薄になり、無関心を装う傾向にあると思われます。

子どもの育成においては、家庭と地域が一体となって、健全な発育に協力する事が大切といえます。コミュニティは豊かな地域環境をつくるために活動していきます。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数(時期)	実施予定
合同運動会	富小・富保・老社会・コミュニティ合同の運動会	体育部 住民	5月	
サツマイモの栽培	富小2年生と、富保園児、住民でサツマイモ栽培(JAの指導)	総務部 住民	5月～10月	
あいさつ運動	校門で、登校する児童等に、挨拶をする(見守り)	育成部 住民	月1回	11回 / 年
もちつき大会	米消費活動推進と、住民、保護者間の交流を深める(富保)	育成部 老社会 他	1月	
子ども会団体助成	11地区子ども会への、助成・支援事業	育成部	6月	
富小卒業祝い	卒業式での記念品の贈呈	育成部	3月	
子ども防災科学クラブ	4年生以上の希望者に対し、防災を科学的に説明(ラジオ作りなど)	育成部 協力者	奇数月	5回 / 年
読み聞かせ学習支援	読み聞かせとミシン学習の支援(富小)	富熊つなく隊	随時	
子育て支援事業	ピーチtoひよこ園児とのふれあい(富保)	愛育班	第2・第4木曜日	
夏休み宿題応援	夏休みの宿題で、工作、絵画、自由研究などを手助け	ボランティア		検討

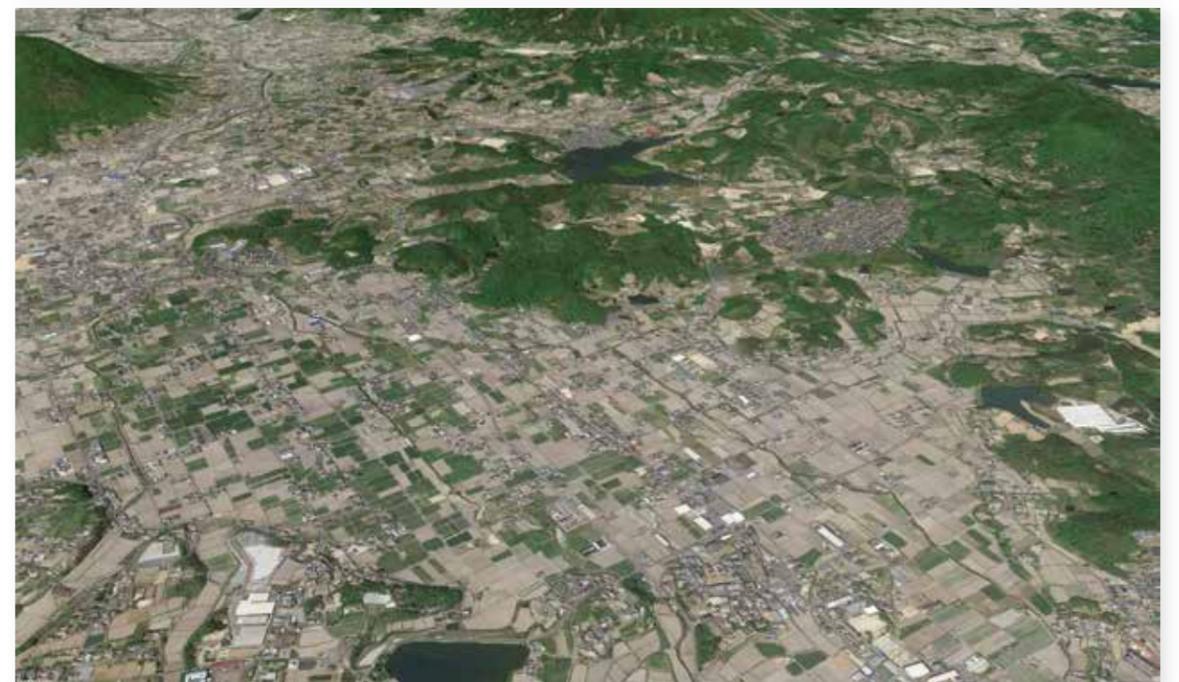


富熊コミュニティまちづくり計画策定委員会

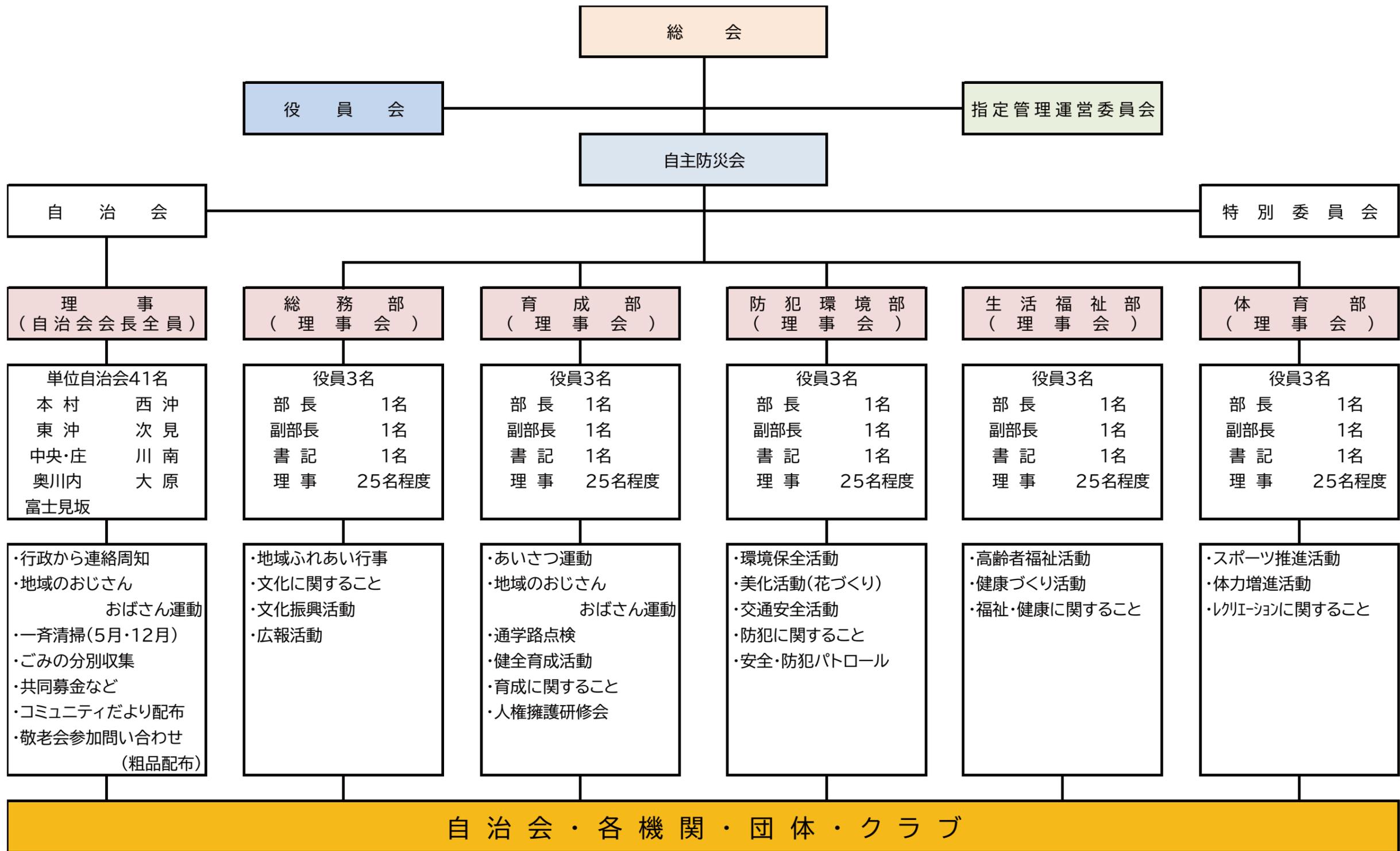
No.	氏名	所属
1	丸尾 良一	富熊校区コミュニティ協議会 会長
2	小路 勝美	富熊老壮連合会 会長 (富熊校区コミュニティ協議会 副会長)
3	中條 弘司	丸亀警察署富熊駐在所 所長
4	横山 好視	環境美化推進委員
5	水澤 弘江	更生保護女性会委員
6	吉村 悦子	富熊母子愛育班 班長 (富熊校区コミュニティ協議会 副会長)
7	長谷川 勝子	食生活改善推進協議会 会長
8	苧坂 久美子	生活研究グループ 会長
9	萱原 正己	丸亀市立綾歌中学校 校長
10	早馬 恵美	丸亀市立富熊小学校 校長
11	逸見 美智子	丸亀市立あやうたこども園 園長
12	宮武 映子	丸亀市立富熊保育所 所長
13	内海 祐次	富熊校区コミュニティ協議会 副会長
14	香川 一男	富熊校区コミュニティ協議会総務部 部長
15	十河 礼子	富熊校区コミュニティ協議会育成部 部長
16	堤 則雄	富熊校区コミュニティ協議会防犯環境部 部長
17	池原 周司	富熊校区コミュニティ協議会生活福祉部 部長
18	神野 博之	富熊校区コミュニティ協議会体育部 部長
19	吉田 正則	民生児童委員 富熊地区代表
20	松尾 多津子	福祉ママ 富熊地区代表
21	山下 宏幸	富熊つなぐ隊 代表
22	佐藤 豊	富熊校区コミュニティ協議会 事務局長

2020年4月現在

富熊ふるさとめぐり



富熊校区コミュニティ協議会組織図



はじめに

もくじ

概要

評価と課題

まちづくり計画

参考資料

はじめに

もくじ

概要

評価と課題

まちづくり計画

参考資料





富熊コミュニティセンター
丸亀市綾歌町富熊 1192-1
0877-86-5224



ゆうとぴあ綾歌
丸亀市綾歌町富熊 1409-31
0877-86-5087

健康で笑顔あふれるまち富熊

Tomikuma Community



令和2年4月1日発行
 発行 富熊校区コミュニティ協議会
 〒761-2407
 丸亀市綾歌町富熊1192番地1
 (0877) 86-5224
 編集 まちづくり計画策定委員会

